

神戸昇天教会月報

☎652-0015 神戸市兵庫区下祇園町39番7号 神戸昇天教会

牧師 小南 晃

電話 (078) 361-4490

FAX (078) 361-4539

http://nssk-kobeshoten.org/

口座振替 01110-2-10517

今年の標語

「来てみませんか」と誘える教会を目指そう。

努力目標

- 聖書と聖歌に親しむ。
- ホームページの活用。
- 信徒一人ひとり教会活動に参画しよう。
- 地域との交流促進。

聖語

キリストにおいて、あなたがたも共に建てられ、霊の働きによって神の住まいとなるのです。(エペソ2:22)

逝去者記念の季節にあたり ～天国から見守られながら～

こういうわけで、わたしたちもまた、このようにおびたしい証人の群れに囲まれている以上、すべての重荷や絡みつく罪をかなぐり捨てて、自分に定められている競走を忍耐強く走り抜こうではありませんか(ヘブライ人への手紙12章1節)。

司祭 ミカエル 小南 晃

11月は教会における逝去者記念の季節です。キリスト教にとってのお盆の季節と言ってもよいかも知れませんが、その謂れや歴史を少し申しますと、教会の暦で11月1日は諸聖徒日という祝日とされています。諸々の聖人の日という意味ですが、この日は聖ペトロ、聖ヨハネといった一人ひとり名の知られた聖人だけでなく、初代教会時代からの名の知られない多くの殉教者たちを覚える記念日です。

初代教会時代に各地でまちまちの日に守られていたのが、8世紀頃に11月1日に守られるようになり、そしてその翌日11月2日に聖徒だけでなく、すべての逝去者を覚える諸魂日が設けられ、やがて11月は教会において逝去者を記念する季節となって参りました。

1年を振り返って

神戸昇天教会では、11月第1日曜日に秋季逝去者記念礼拝と鶴越墓苑の当教会納骨堂への墓参を行っています。今年は11月5日(日)に行います。秋季と銘打つのは、主イエス・キリストのご復活を祝う復活節の第2主日にも同じく逝去者記念礼拝と墓参を行い、こち

らは春季としているからです。

昨年の秋季逝去者記念礼拝は11月6日(日)でしたが、この1年の間に4人の兄弟姉妹が天に召されました。昨年の春季逝去者記念礼拝からですと、さらにもう一人の姉妹と当教会の前々任牧師の岡崎正司祭様を天国に見送ることになりました。敬愛する兄弟姉妹の姿を見ることが出来ないのは寂しい限りですが、キリスト教の逝去者記念において、まず忘れてはならないことは、復活と永遠の命を信じる信仰がその前提になっているということです。

また逝去者のための祈りの一つ(逝去後三日、1週、一か月、一周年記念の祈り)に「どうか世を去った人も、なお世にあるわたしたちも、常に主にあって聖徒の交わりを楽しませてください」とあるように、召された兄弟姉妹と私たちは常に絶えることのない主にある交わりの内にあるという信仰に立っているということです。

一人ひとりの名を覚えて

冒頭の聖句、ヘブライ書12章1節に「こういうわけで、わたしたちもまた、このようにおびたし

い証人の群れに囲まれている以上、すべての重荷や絡みつく罪をかなぐり捨てて、自分に定められている競走を忍耐強く走り抜こうではありませんか」とありました。

それは旧約聖書の創世記から始まって信仰に生きた人々の名前とエピソードを語り聞かせ、そのようにおびたしい証人の群れに囲まれていることを思い起こさせた上で、だからあなたがたも頑張りなさいと呼びかけているものです。

逝去者記念礼拝では天に召された当教会歴代信徒・関係教役者の方々の名前を一人ひとり読み上げて参りますのもそれと同じです。

まずはその方々の天国での魂の平安を祈るためですが、同時にこんなにも多くの信仰の先達の働きによって信仰が今にまで伝えられ、そして私たちの教会が創設され、支えられてきたことを感謝し、さらにその方々に天国から見守られていることを覚えるためです。

この逝去者記念の季節にあたり、当教会歴代信徒及び関係者教の逝去者の方々の主にある光明と平安を祈るとともに、私たち自身が信仰の先達に倣って、一人ひとりが信仰の馳せ場を走り抜き、そして私たちの教会がさらに神の栄光を現して参れますよう共に力を合わせていく決意を新たにしたいと思います。

願わくは世を去りし、神戸昇天教会歴代信徒及び関係教役者の魂の、よみがえりの主の憐みによりて安らかにいこわんことを。

アーメン

定例集会

日 午前7時 早朝聖餐式
 " 9時15分 教会学校
 " 10時30分 聖餐式・説教
 午後6時 夕の礼拝

火 午前10時30分 聖書研究会
 土 午前10時30分 教会掃除
 (ご奉仕をお願いします)